

県職 退職者こだま会 第33回定期総会議案



小網代の森をゆく

てく・テクの会の「小網代の森・春ハイク」(3月30日)

今号の紙面

- ・総会案内 …………… ①
- ・総会議案 ……… ②～⑥
- 2016年度経過・決算報告／同監査報告／2017年度方針案／同予算案／役員改正案
- ・神奈川県職員九条の会 フィールドワーク … ⑥
- ・こだま俳壇／歴史教室／予告 …………… ⑦
- ・小網代の森・春ハイク／絵手紙 …………… ⑧

こだま会役員のご公募について

こだま会役員選考委員会委員長 加瀬文隆

当会の役員は、会則12条により総会で選出することになっていますが、恒例により幹事会のもとに役員選考委員会を設置し、役員を公募したうえで、総会に提案します。下記の要領に基づいて、積極的にご応募くださるようお願いいたします。

記

- 1 応募期間 5月19日(金)～6月2日(金)
- 2 応募方法 下記の内容を記載のうえ、FAXまたはEメールで応募して下さい。
①氏名 ②住所 ③連絡先
(電話・FAX・Eメール)
- 3 応募先 「こだま会役員選考委員会」
FAX番号 045 (212) 3178
Eメールアドレス
kodama@kodamakai.sakura.ne.jp
- 4 任期 2年(2017年総会～2019年総会)
- 5 役員の数 現行の体制を基準
- 6 幹事会 年6回程度(年4回の会報発送作業を幹事会の前に実施)。日常業務は事務局を中心に行っています。役員は相互に協力し、会の業務を分担、執行します。
- 7 問合せ先 こだま会事務局
(火曜日10時～16時) ☎045(212)3179

神奈川県
職 労 連

退職者 第33回定期総会のご案内

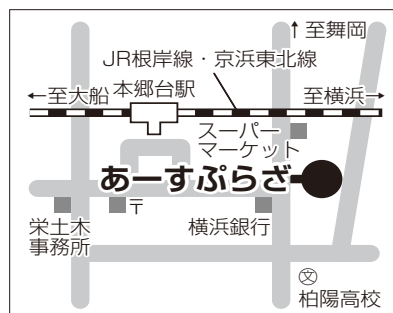
と き 6月23日(金) 10時受付 10時30分開会～12時30分
と ころ 本郷台 あーすぷらざ 〈JR根岸線「本郷台駅」前〉
横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 045 (896) 2121

●神奈川県立市民かながわプラザ1階会議室

みなさん、いかがお過ごしですか。退職者こだま会第33回定期総会を開きます。毎年、たくさんの会員がつどいます。この1年をふりかえり、新しい運動方針をみんなでつくっていきましょう。

総会終了後は懇親会で交流

総会終了後、12時45分から14時45分まで、総会会場内にあるレストラン「メルヘン」で懇親会を開きます。軽食をとりながら交流を深め、楽しいひとときをすごしましょう(会費2000円)。



なお、今年度の「長寿祝い制度」該当者(4月1日現在77歳)のみなさんは、招待させていただきます。
■出欠は同封のハガキで、5月30日(火)までに投函してください。6月1日からは、ハガキ代が62円に値上げされます。10円切手を足して投函してください。

神奈川県職労連 退職者こだま会第33回定期総会議案

〈第1号議案〉

2016年度経過・会計報告

この1年間の活動

1 交流の場と仲間づくり

(1) 文化レク企画「てく・テクの会」のとりくみ

「世界遺産富岡製糸場と宝川温泉バスツアー」(9月28～29日・20人)では、明治初期の工業発展への意気込みや、指導者養成機関である富岡製糸場女工の高待遇と、「女工哀史」との待遇格差などを学びました。

日帰り企画では、「谷根千そぞろ歩き」(12月1日・14人)、「小網代の森・春ハイク」(3月30日・18人)を楽しみました。

(2) 「趣味の会」のとりくみ

各会とも継続して活動しています。新しい趣味の会の誕生が望まれます。

① 歴史教室(講義・散策)

10月4日に総会を開き、企画・連絡・会計など、みんなで役割分担してとりにくんでいます。3月16日、「太平記の舞台―鎌倉散策」(11人)を実施しました。

② 俳句サークル・こだま句会

毎月第2木曜日に定例会句会を実施。

俳人協会の太田土男先生を囲み17人の会員が、それぞれ4句を提出し、研鑽に励んでいます。2月に合同句集『こだま』第4集を発行しました。

③ 食文化を楽しむ会(薬膳料理)

「夏を乗り切る薬膳料理」(7月28日・9人)、「風邪に負けない薬膳料理」(11月24日・10人)を実施。調理の腕を上げました。

④ 楽しい料理教室

「相模湾釣りたて魚の料理」(9月25日・12人)を実施。イナダの三枚おろし、サバの味噌煮、魚のあらだし味噌汁、握り寿司に挑戦。日本料理の基本を学びました。

(3) 「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会主催)

横浜市従会館で10月29日に開催。250人を超える大盛況で、当会からは、居合抜き、ギター弾き語り、カラオケ、俳句、川柳、絵画、絵手紙、ハガキ絵、ペン画、書、ワイヤーアート、手づくり小物に計38人が出演、出品し、交流を深めました。

2 福利厚生活動

(1) 長寿祝い制度

2016年度(4月1日現在77歳)は50人。お祝いのギフトカードを贈

り総会後の懇親会に招待しました。

(2) 共済事業や「人間ドック」

2014年度から「人間ドック」事業を導入し、定着と事業の拡大に努力しています。今年度も県内5医療機関の協力を得ました。

自治体などが実施する定期健診と合わせて健康管理に生かすよう、よびかけています。

3 平和と民主主義、生活と人権を守る活動

(1) 「戦争法」反対、安倍政権退陣をめざして

「総がかり行動実行委員会」が「戦争法反対・安倍政権退陣」を呼びかけた9月19日の抗議行動には2万3000人が参加しました。

「戦争法」採決後も「19日行動」が続き、当会からは10人前後の会員が継続して参加しています。

(2) 神奈川県職員九条の会と連携同会の宣伝行動や「平和のつどい」などに参加し、連携を深めました。

(3) 津久井やまゆり園事件について7月26日の津久井やまゆり園殺傷事件については、幹事会で議論をし、『会報』(114号)で神奈川県職労連執行委員会声明(8月2日)を掲載しました。

(4) 愛名やまゆり園・岩元克憲さ

んの復職をめざして

岩元克憲さんの退職無効と地位確認を求めてたかっている争議で、「かながわ共同会の障害者差別を許さず岩元さんの職場復帰をめざす会」に加入し、署名・宣伝・裁判傍聴などの行動に参加しました。

(5) 鎌倉市と同市議会による、鎌倉市職労への労働基本権侵害と労組つぶしに反対するたたかい

「鎌倉市政を市民と働く仲間に取り戻す会」に参加し、署名、宣伝、労働委員会傍聴などに参加。そのなかで、組合事務所移転問題を解決し、組合費チェックオフ廃止条例案を否決に追い込みました。

4 『会報』とホームページの充実

『会報』は年4回、定期発行しました。『せいかつ短信』への投稿が多くなるなど、会員相互の情報交換の場として活用されています。ホームページは、行事予告など迅速な更新と内容の充実に努力しています。

5 会員加入状況と会の運営

(1) 会員総数
本年3月末現在、1273人(終身会員1200人、年会員73人)です。

(2) 会の運営

毎週火曜日、10時から16時に事務所を開所。四役・事務局会議を12回、
(3面へ続く)

2016 (平成28) 年度一般会計報告

(2016年4月1日~2017年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入				支 出			
項 目	予算額	決算額	摘 要	項 目	予算額	決算額	摘 要
年会費	90,000	69,000	3,000円×23人	事務局費	300,000	405,780	事務局運営費
終身会費	400,000	275,000	25,000円×11人	行動費	150,000	226,372	高齢者大会・自治労連関連
県職労連交付金	550,000	616,500		会報費	1,000,000	1,016,344	会報発行費
共済助成費	1,200,000	1,199,692	全労済事務取り扱等	総会費	160,000	122,990	総会経費
雑収入	77,384	69,597	総会祝金・利息等	会議費	500,000	462,200	幹事会・事務局会議費等
繰入金	250,000	250,000	積立金会計より	通信費	30,000	22,388	
寄付金	1,000	3,510	個人からの寄付	長寿祝い金等	170,000	160,540	3000円×50人
前年度繰越金	321,616	321,616		負担金	65,000	60,000	県退職者会・手作り文化祭
合 計	2,890,000	2,804,915		繰出金	400,000	275,000	積立金会計への繰出
				予備費	115,000		
				次年度繰越金	0	53,301	
				合 計	2,890,000	2,804,915	

幹事会を6回開きました。
 (2面より続く)

6 共同のとりくみ
 (1) 諸団体との交流
 年金・医療・介護、平和などの問題に対応するため、日本高齢者大会 in 東京(6人)、全国自治体退職者連絡会総会(2人)、輝け高齢期神

2016 (平成28) 年度積立金会計報告

(2016年4月1日~2017年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入				支 出			
項 目	予算額	決算額	摘 要	項 目	予算額	決算額	摘 要
前年度繰越金	15,945,759	15,945,759		本年度支出	250,000	250,000	一般会計へ長寿祝い金等
本年度収入	401,500	276,571		次年度繰越金	16,097,259	15,972,330	
内訳			一般会計から終身会費収入分	合 計	16,347,259	16,222,330	
積立金	(400,000)	(275,000)					
利息	(1,500)	(1,571)					
合 計	16,347,259	16,222,330					

奈川の集い(7人)などに参加し、交流を深めました。
 (2) 諸団体への役員派遣
 全国自治体退職者連絡会(事務局次長1人)、神奈川県自治労連退職者(会長1人・事務局次長1人・幹事3人・会計監査1人)、神奈川県高齢期運動連絡会(幹事1人)に役員を送り、諸行動に参加しました。

会計監査報告

会計監査報告

2017年4月11日

神奈川県職労連退職者こだま会
代表幹事 植木眞理子 殿

2017年4月11日、こだま会事務室において2016年度一般会計及び2016年度積立金会計について、それぞれの会計帳簿、収支証拠書類、預金通帳等監査を実施したところ、適正に執行されていることを認めます。

会計監査 岩柳良雄 (印)
 会計監査 谷村 寛 (印)

一方、安倍首相は選挙終了後、明文改憲、沖縄高江ヘリパッド・辺野古基地建設、南スーダンに自衛隊「駆けつけ警護任務付与」、TPP承認ができています。

一人区で勝利。新潟県知事選挙も市民と野党共闘の知事が誕生し、「政治は変えることができる」という新しい希望が生まれました。この新しい連帯と共同は、格差と貧困の是正、社会保障のとりくみなどにも広がりができています。

2017年度活動方針案

I 私たちをとりまく情勢

2015年9月19日の安保法制強行採決以後に行われた2016年夏の参議院選挙は、市民と野党が共にたたかった国政選挙となり、11の1人区で勝利。新潟県知事選挙も市民と野党共闘の知事が誕生し、「政治は変えることができる」という新しい希望が生まれました。この新しい連帯と共同は、格差と貧困の是正、社会保障のとりくみなどにも広がりができています。

(第2号議案)

案、年金カット法案、カジノ法案を強行採決するなど、国会ルール無視の危険な暴走を続けています。

築地市場の豊洲への移転問題では食の安全・安心、森友学園問題では土地払い下げの政治家関与や教育勅語などの問題が浮上しています。

3月開催の『核兵器禁止条約国連会議』(115カ国参加)は日本政府不参加のもと、被爆者や市民団体が世界に訴え、核兵器全面廃絶につながる法的拘束力のある条約を今年の7月には採択するとの議長発言で閉会しました。

1 国民のくらしと国政の動き

(1) 安倍政権の暴走と国民の運動
 特定秘密保護法の強行、盗聴法の適用拡大、共謀罪の導入計画など、国民の目と耳・口をふさぎ、自由と権利を侵害し、モノを言えない監視社会を作る動きが加速しています。

歴史教育への攻撃、道徳の教科化、教科書制度の改悪、全国学力テスト体制の強化、人事評価などを通じた教員統制も行われています。

2017年度政府予算案は、首都圏の高速道路やリニア中央新幹線など大型開発中心の公共事業費と軍事費(米国製の高額兵器購入、大学を軍事研究に呼び込む「安全保障技術

(4面へ続く)

〈3面より続く〉

研究推進制度」など)は大きく増えています。

一方、国民の運動は、安保関連法成立後も全国・地域で大きく広がり、毎月19日の大運動実行委員会の国会周辺行動、全国各地域でのスタンディング、パレードなどと広がっています。南スーダンに派遣の陸上自衛隊は、国民の世論と運動、野党の追及で5月末に撤収に追い込みました。

(2) ほど遠い原発事故の収束

東日本大震災・福島第一原発事故から6年が経過しました。被災地では、住宅再建・商店街などの再建もまだまだ途上であり、今も12万人の被災者が不自由な避難生活を続け、福島県では8万人近くの県民が避難を強いられています。

ところが安倍政権は、「復興費用は全額国が負担する」という約束を破り、被災自治体に負担(被災者の命綱、医療や介護の負担軽減等)を押し付け、国の被災者支援策、復興策の打ち切り・縮小を進めています。

福島第一原発は、溶け落ちた核燃料の状況もわからず、高放射線量に調査も難航し、「完全にコントロール」どころか、解決のめどもたっておりません。ところが安倍政権は、原発再稼働と原発輸出と、原発推進に

ひた走り、福島原発事故を「終わったもの」とし、避難指示解除、住宅無料提供支援打ち切りなど「福島切り捨て」を行っています。

すべての被災者の生活と生業の再建、「原発ゼロ」の日本へと、さらなるとりくみが必要です。

(3) 「アベノミクス」の破たんと働き方改革

「一億総活躍社会」「特殊出生率1.8」「介護離職ゼロ」「新3本の矢」と言葉を並べた経済政策。しかし実態は伴わず、国内総生産(GDP)減、労働者の実質賃金のマイナス、家計消費の大幅な落ち込み、非正規雇用の拡大、過労死を招く長時間過密労働の蔓延、生活保護世帯層の増加など、貧困と生活破壊で格差はますます拡大。アベノミクスの破たんが露呈し、批判と不満が増しています。

また、働き方改革と銘打ち、ワークライフバランス・多様な働き方と耳触りの良い言葉を並べていますが、非正規雇用・過重労働・過労死の固定化につながりかねないものとなっています。

(4) 社会保障制度の改悪

① 下がり続ける年金

厚生省は2017年4月分(6月支給)の年金から、物価下落に対応して0.1%引き下げると発表。強行採決された「年金カット法」は、

現役世代の将来の年金受給がまともな保障されず、年金の支給開始年齢を65歳からさらに引き上げ、マクロ経済スライドの強化は若い人にも高齢者にとっても悪循環。年金者組合を中心に広範な人々が違憲訴訟に立ち上がっています。

② 遠のく医療と介護

「入院から在宅へ」「医療から介護へ」「介護から市場・ボランティアへ」と、医療も介護も自己負担増、公的負担減の波が押し寄せています。

医療では、①75歳以上の後期高齢者医療制度の患者負担原則2割、②高額療養費の引き上げ、③入院時の食費・居住費のさらなる負担増、④かかりつけ医以外の受診定額負担、などが検討されています。

介護では、①軽度者の福祉用具・住宅改修・生活援助の原則自己負担、②利用料原則2割負担などが打ち出されました。少子高齢社会のなかで、認知症対応も迫られています。

いまこそ、憲法25条を実現させていくとりくみが求められています。

2 神奈川県政をめぐる動き

県はこの間、「財源不足」を理由に、県民の求める福祉や教育予算増の要求に対して、困難とする対応を繰り返してきました。「かながわモデル加速化予算」スマイルあふれる神奈

川を目指して」と打ち出された2017年度予算は、ほぼ前年並みの規模です。

県は出先機関の統廃合、福祉施設の指定管理者、病院の独立行政法人化、試験研究機関の統廃合、図書館の統合など、施策のスリム化を図ってきました。

津久井やまゆり園事件(2016年7月26日)は、戦後最大の殺人事件とされています。2005年に指定管理者となり、この間、県の財政負担は半減。ほぼ人件費相当額が減らされています。

今回の事件に直接関係すると一概にはいえませんが、県の施設としての指定管理、独立行政法人化などについても、職員の賃金労働条件・職員の研修などの低下、ひいては利用者・入居者の処遇水準の低下につながらないのかの視点が必要です。

(1) 労働時間短縮と人員増

2016年度の知事部局の条例定数は42年ぶりの増員(24人)でしたが、2017年度は組織再編(産業技術センターの独立行政法人化、茅ヶ崎保健福祉事務所の市への移管)を除くと、オリンピック・パラリンピック準備、児童虐待問題対応、そして労働時間短縮を目的に別枠で25人が配置されました。

〈5面へ続く〉

第3号議案 2017年度予算案

2017(平成29)年度 一般会計予算(案)

(2017年4月1日~2018年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
年会費	69,000	3,000円×23人	事務局費	350,000	事務運営費など
終身会費	300,000	25,000円×12人	行動費	170,000	自治労連退職者連 絡会・高齢者大会
県職労連交付金	616,500		会報費	1,100,000	会報発行経費
共済助成費	1,200,000	全労済事務取扱等	総会費	130,000	総会経費
雑収入	63,489	総会祝金・利息等	会議費	460,000	幹事会・事務局会議等
繰入金	550,000	積立金会計から (長寿祝い金等)	通信費	30,000	
寄付金	4,000	個人からの寄付など	長寿祝い金等	148,000	46人、送料他
前年度繰越金	53,301		負担金	60,000	県退職者会・手作 り文化祭
合 計	2,856,290		繰出金	300,000	積立金会計へ(終身 会費収入分)繰り出し
			予備費	108,290	
			合 計	2,856,290	

2017(平成29)年度積立金会計予算(案)

(2017年4月1日~2018年3月31日)

(単位:円)

(単位:円)

収 入			支 出		
項 目	予算額	摘 要	項 目	予算額	摘 要
前年度繰越金	15,945,759		本年度支出	550,000	一般会計、長寿 祝い金等
本年度収入	301,571		次年度繰越金	15,697,330	
内 積立金	(30,000)	一般会計から、 終身会費収入分	合 計	16,247,330	
内 利息	(1,571)				
合 計	16,247,330				

〈4面より続く〉

くみをすすめます。

II 活動の基本と計画

1 交流の場と仲間づくり

(1)文化レク企画「てく・テクの会」

「戦没画学生慰霊美術館『無言館』

と別所温泉(長野県上田市) バスツ

アー(9月27・28日)や「グルメ

散歩」「お花見ハイキング」を実施

します。

(2)「趣味の会」

「料理教室」「食文化を楽しむ会」

「歴史教室」「俳句サークル・こだま

句会」など、会員の趣味を生かした

活動を応援し、充実をはかります。

(3) 仲間づくり

会員の提案を積極的に受け止め、

既存の趣味の会のほかにも交流の場

を増やし、楽しく実りある活動にし

ていきます。

2 福利厚生活動

(1) 長寿祝い制度

対象者は77歳(生年月日 193

9年4月2日)1940年4月1日)

で46人です。お祝いのギフトカードを

贈り、総会後の懇親会に招待します。

(2) 共済・保険・人間ドック

有利で安心な火災共済、自動車共

済、がん保険などの保険事業や人間

ドック事業にとりくみます。

(3) 相談活動

県職労連と連携して法律相談をと

りくみます。また会員の専門性を活

かした相談活動を検討します。

3 高齢者が安心して暮らせる社会へ

医療・福祉・介護・年金制度の改

悪反対や消費税増税反対、脱原発な

どの国民的な課題では、「日本高齢

者大会」「輝け高齢期かながわの集

い」などの集会や学習会へ参加し、

署名などを呼びかけます。

4 県民本位の県政めざして

(1) 県「行革」について

県有施設の切り捨てなど、県「行

革」(県ホームページ「行政改革大綱

平成27年度点検報告書」参照)では、

県職労連と連携し、会員による地域

や団体でのとりくみを支援します。

(2) 愛名やまゆり園・岩元克憲さ

んの職場復帰をめざすたたかい

「かながわ共同会の障害者差別を許

さず岩元さんの職場復帰をめざす会」

に参加し裁判傍聴等にとりくみます。

5 いのちとくらし、平和と民主

義を守る運動

(1) 「戦争法」の廃止を求める行動

「戦争法」の廃止を求める毎月19

日の国会行動など、関連団体が主催

する行動に積極的に会員が参加でき

るよう、「会報」で呼びかけるなど「戦

争法」廃止に向けて行動します。

(2) 憲法改悪反対のとりくみ

憲法への「緊急事態条項」の追加

や第9条を改悪する目論見に反対

し、神奈川県職員九条の会などと連

携してとりくみます。

(3) 民主団体との連携

全国自治体退職者連絡会、神奈川県

自治労連退職者会、神奈川県高齢期運

動連絡会などの民主団体と協力して

運動に参加します。

(4) 「鎌倉市政を市民と働く仲間

に 取り戻す会」への支援

鎌倉市と同市議会による鎌倉市職

労に対する不当な攻撃(給与の激減

〈6面へ続く〉

〈5面より続く〉

緩和措置削除の議決など)に対して、「取り戻す会」に参加し、支援します。

6 「手づくり文化祭」(神奈川県自治労連退職者会主催)への参加

毎年10月下旬に開かれ、会員の趣味の発表の場であるとともに、他の退職者会との交流を深める場でもあります。多くの会員が出演、出品、見学できるように会報などで周知

厚木基地 爆音体験& 横須賀軍港視察

神奈川県職員
九条の会が
フィールドワーク

「グォー、ガッ」という爆音に驚き、駅から通じる歩道橋に飛び出ると、音のずうつと先に、黒い機影がみるみる黒点になって視界から消えていきました。ここは相鉄「相模大塚駅」の改札口。神奈川県職員九条の会主催「厚木基地爆音体験&横須賀軍港視察」の集合場所です。3月23日、フィールドワークのスタート。参加者は7人と案内役1人の計8人。
半端でない爆音

厚木基地は、自衛隊と米軍の共用。

し、積極的な参加を促します。
7 会報、ホームページの充実
(1) こだま会報

5月15日・8月15日・11月15日・2月15日に定期発行し、会員が主人公の楽しくわかりやすい紙面を追求します。
(2) ホームページ

イベント情報や行事の報告などを迅速に更新するとともに、会員が気軽に身近な話題や写真の投稿ができ

ほぼ5分刻みで大小の飛行機が発進していきます。なかには尾翼後方に円錐形のレーダーを装備したP-3C哨戒機や、3機編成のヘリコプターなどがありました。



米軍と自衛隊の船艦が停泊する横須賀軍港を視察

るようサイトの充実を図ります。
8 会員の拡大と会の運営
(1) 会員の拡大

県主催の退職予定者説明会や県職労連各支部・分会の退職予定者との集いなどで加入を呼びかけます。また、再任用(再雇用)終了者への加入を改めて呼びかけます。

(2) 会の運営
毎週火曜日(10時~16時)に事務

案内役の県平和委員会の鈴木和弘氏によると、航空母艦が横須賀港に出入りする前後に、大島沖あたりで高速航行しつつ、艦載機の発着訓練と厚木基地でのタッチ&ゴーの訓練を行うとのこと。主要な訓練場所は硫黄島だが、天候などの都合を理由に厚木にもやってくる。「この時の爆音は半端でない」と強調します。



案内役の鈴木和弘氏

米軍と自衛隊の艦船がズラリ

電車を乗り継いで京急「汐入駅」で下車。ヴェルニー公園脇の軍港巡り観光船で横須賀軍港を一周。護衛

所を開き、四役・事務局会議を概ね月1回開きます。また、幹事会を開き、方針の具体化を図ります。

〈第4号議案〉

役員改正案

総会当日配布します。

艦、掃海(母)艦、潜水艦、イージス艦など、米軍と自衛隊の艦船がズラリ。定期メンテナンスで停泊中の米原子力空母ロナウド・レーガンは全長333メートル。これは東京タワーを横に倒した長さで、遠くからでも巨大さがわかります。

圧巻は、前日の3月22日に就役したばかりの海上自衛隊最新のヘリ空母『かが』。旧海軍の空母『加賀』の名称を引き継ぎ命名。大きさも甲板全長250メートルでほぼ同じ。真近に見たその大きさに驚きました。

「次の戦前」にならないよう

いま、「森友学園問題」に関連した教育勅語や、中学校体育への「銃剣道の導入」などが話題になっています。「次の戦前」にならないよう、しっかりと気を引き締める視察になりました。(鳥居伸太郎)

こだま俳壇(4月)

新人生ランドセルから手足出し 鳥海 敏雄
 埋立地一叢残る蓮華草 柳瀬 節子
 レコードのノイズかすかに菜種梅雨 田中 一男
 百寿まで老いの才覚花盛り 三井 光子
 花冷えや辺野古座り込み千日に 横川美代子
 大津波新人生なき校舎かな 木村 武子
 川沿ひに屋台がつづく花見かな 島田多嘉子
 畑を打つ隣は荒地ビルの街 友井 眞言
 鎌倉の山越えの道風光る 坂 守
 桜ちり枝の雀が雨に散る 後藤 貞夫
 来年も咲くぞと桜言うた気が 白井保次郎
 物種の保護法捨つる病める国 小川 水草
 満開の桜の下の四世代 松尾佐知子
 新人生友と道草橋の上 井村 友彦
 まちわびし桜散らすな風吹くな 中村 桂子
 花影に昔話の母と子と 鈴木志げ子
 新聞でバーチャル登山春めく日 本山 文子

第63回 歴史教室 (散策)

『太平記』の舞台 鎌倉を散策

3月16日(木)、10時にJR鎌倉駅前に集合したのは11人(男7・女4)でした。彼岸が近いとあって、朝比奈行きのバスはかなり混雑だ。



後醍醐天皇の皇子護良親王を祀った大塔宮で

まずは、①杉本寺で下車。鎌倉最古で、関東札所一番の由緒ある寺。すり減った石の急な階段も、竹の手すりを頼りに昇り、本堂に上がり、観音様を間近でお詣りする。寺の後



足利尊氏の父 貞氏の墓

の急峻な崖の上には城があり、『太平記』では、北平記』では、北島顕家軍に足利尊氏派の斯波高経軍が討死したとあるが、いまは立入禁止で、跡も不明である。次の②浄妙寺

バス停から鎌倉方面へ戻り、別路で下車。③鎌倉宮へ。戦乱の際、当地で殺された後醍醐天皇の皇子の護良親王を奉る神社だが、明治天皇の勅で創建された由で新しく、お詣りのみ。境内の休憩所で遅めの昼食をすませ、予定の永福寺と護良親王の墓は中止として、2時からの説明がある④覚園寺へ向かう。

参加者は私たちのほかは数人と、もったいない感じで、僧侶の流調な説明でゆっくり巡回する。圧巻は薬師堂。大きな薬師如来に息をのみ、周囲の十二神将にも自然と頭が下がる。天井の龍に見とれ、棟板に書かれた足利尊氏の説明には、一同感嘆の声をあげる。別世界のような静かな境内に、時間が逆戻りしたようにさえ感じ、八百年前の『太平記』の気分になり散策。

予告!! 予告!! 予告!!

- 歴史教室(総会)
 - とき 6月8日(木) 13時30分~15時30分
 - 場所 県庁本庁舎6階共用会議室
 - 議題 行事計画(講義・散策)など
 - *会員以外の方の参加、歓迎
 - 連絡先 こだま会事務所045(212)3179 または湯川勉0463(72)4766
- 俳句サークル「こだま句会」
 - 月例句会(毎月第2木曜日13時~)
 - 6月8日(木) 7月13日(木)
 - ところ 県庁本庁舎6階会議室
 - 指導 太田土男先生(俳人協会)
 - 会費 800円(投句のみ500円)
 - 申込先 こだま会事務所045(212)3179 または井村友彦0463(81)4493
- 薬膳料理
 - とき 7月下旬予定
 - ところ 西地区センター予定
 - 会費 1800円
 - 内容 夏を乗り切る薬膳料理
 - 講師 亀井禎子会員
 - 申込先 亀井禎子045(332)4601 またはこだま会事務所045(212)3179
- てく・テクの会
 - とき 9月27日(水)~28日(木)
 - 集合 天理ビル前 8時30分出発
 - ところ 松代大本营・無言館と信州の鎌倉=別所温泉バスツアー
 - 会費 2万5000円(バス代・宿泊費・入館料・保険等)
 - 申込先 こだま会事務所045(212)3179

ポツポツの雨足も、傘を広げるほどではなく、無事、鎌倉駅へ帰着し、二家で反省会をして解散する。みなさん、お疲れ様でした。(吉田綾子)

てく・テクの会

小網代の森で「春ハイク」

三浦半島の先端部に、源流から海まで「流域」が丸ごと自然のまま残されている奇跡の森があります。アカテガニ



貴重な自然が残る小網代の森で

をはじめ、珍しい生物が住む森だといふことで3月30日、「てく・テクの会」で「小網代の森・春ハイク」を実施。参加者は18人。天気は快晴。

京急「三崎口」駅に10時30分に集合し、三崎港方向に歩き始めました。11時に引橋入口に到着。中央の谷に向かつて階段を降りていくと、斜面や川辺のあちこちに巨大シダ「アスカイノデ」の群生。さらに7〜8分進むと、浦の川が見えます。2000年代の初めは、常緑の灌木類や笹が密生した暗い森でしたが、手入れをして落葉樹の森に再生し、消滅寸前だったシダの森を回復させていったそうです。谷を下ると、そこはナラやシイの



童心にかなれば小網代の蟹の身

明るい林。コジユケイやウグイスの声が聞かれ、タチツボスミレやウラシマソウなどの花が顔をのぞかせています。川沿いの道を蛇行しながらいくと、広々とした湿地帯に出ました。一面に枯れた葦

の茎が敷き詰められたように広がっています。とんぼや蝶、空には10羽ほどのトンビのような鳥が飛び回っています。中央の谷からやなぎテラスまでは、まるで尾瀬かと思わせるボードウオーク。初夏には数百匹のホタルが乱舞するそうです。

11時40分、えのきテラスに到着。少し先に、海や停泊中のヨットも見えます。満潮にならないうちに干潟を見学。小さな巻貝のウミミナが一面に散在し、ほんの数秒、静かに見守っていると、2センチほどの水色のチゴガニが、あちこちで白い鍬を両方挙げて一斉に求愛ダンスを踊り出したのです。かわいらしさに皆びっくりでした。

えのきテラスに戻って12時30分まで昼食休憩。活動中のNPOスタッフ

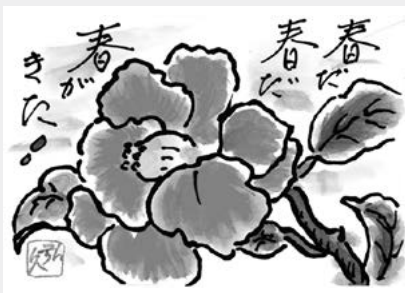
参加者からは、「気持ちよく散策が楽しめた。蟹がとってもかわいらしかった」「こんな近くに自然が残っている森があるのね。いつまでも残したいと思う」などの感想が聞かれました。

(中嶋ひとみ)

絵手紙



田中和子さんの作品



奥津弘久さんの作品